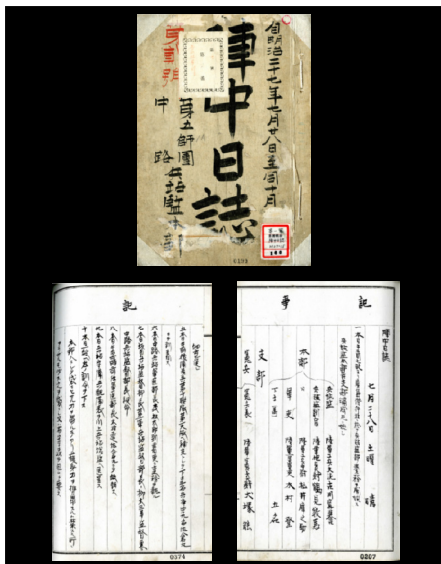


.....「史料紹介コーナー」.....

平成27年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{もり} ^{りんたろう} ^{おうがい} 森 林太郎 (鷗外) 1862~1922年 》
 一島根県出身の陸軍軍医総監一



陣中日誌 (登録番号：陸軍省-大日記-第1軍-日清戦役陣中日誌-M27-15-160)

森林太郎軍医総監(中将相当)は、明治14年7月、東大医学部を卒業後、軍医部長として日清・日露の両戦役に参加する他、陸軍省医務局長などの要職を務めています。この史料は、日清戦争の初期、京城と釜山間の交通路(中路兵站線)を確保し、前線の第5師団の補給のために設置された中路兵站監部の「陣中日誌」(明治27年7月28日~10月4日)で、9月4日の項には、「本日中路兵站軍医部長森林太郎到着更ニ事務ヲ執ル」と記されています。制海権を失った場合の予備的補給路であった中路兵站線は、9月17日の黄海海戦で日本海軍が勝利を収めると「軍隊其他ノ追送及送還ノ要ハ殆ント無キ」に至り、10月2日に「中路兵站監部廃セラレ之ヲ仁川ニ移シ南部兵站監部」に改称します。これに伴い森軍医部長は、第2軍兵站軍医部長に転出します(10月1日付)。



軍隊手帳改正の件 (登録番号：陸軍省-大日記甲輯-T2-1-7)

この史料は「軍隊手帳改正ノ件」(大正2年9月8日付)で、大正天皇が大正元年7月31日に下賜された勅諭を、「下士兵卒ノ奉読ニ便ナラシメンカ為之ヲ軍隊手帳ニ奉戴スル」ための通達です。この通達には、大正天皇の勅諭の振り仮名を添削した文書と、その添削箇所をまとめた文書、すなわち「『イ』ヲ『キ』ニ改メタキ所五ヶ所アリ、『カ』ヲ『コ』ニ改メタキ所一ヶ所アリ、『倚』ハ原案ノママ『イ』ヲ正シトス、『社』モ原案ノ『チ』ヲ正シトス」と、「森林太郎」の署名をいれた直筆のメモが添付されています。明治41年に臨時仮名遣調査委員会委員を務め、明治42年に文学博士となった森軍医総監は、当時陸軍省医務局長(明治40年11月~大正5年4月)でした。文才にたけた森林太郎の知見が、大正天皇の勅諭の振り仮名の添削にも活かされました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影こともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。

防衛研究所企画部企画調整課

専用線：8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)

外線：03-3713-5912

FAX：03-3713-6149

※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>